

成賜りて之を六千石と知りし御日記貞享
書上家傳

其子備中守忠宣忠宣を以て水戸輝と

稱し寛永
譜又外記とていひ家傳寛永九年十二月

從五位下子叙し備中守子任し寛永
譜二十

一十九歳あり貞享
書上

大猷院殿御上洛ありし時供奉成つと

む家譜○今の西城清小恒祖番頭
松平圖書頭忠命の祖あり

松平

源左衛門源宗治宗治ハ外記伊呂二男あり

下總子生るを以て彌九郎といひ少り駿

河大納言忠長卿子生るを以て寛永九年

五月十日三十七歳を以て死し其子佐左衛門

忠勝忠勝を以て源を以て父後して遺

蹟とて記し家傳忠長卿子生るを以て

卿事ありし後ハ流浪し少り家譜慶安

二年五月廿九日（ま）徳松君（ま）御

小性（ま）御

家傳○今の中奥侍番松平
彌九郎忠順の祖なり

松平

典左侍源忠尚（ま）八土佐守忠實（ま）二男（ま）

つとむ（ま）女千助（ま）と稱（ま）以（ま）寛永（ま）元和六年十

四歳（ま）

大猷院殿と稱（ま）したてま（ま）り（ま）そ（ま）ま（ま）り（ま）

召出（ま）を（ま）ま（ま）り（ま）侍書院番（ま）子列（ま）家（ま）康米

三百俵と賜（ま）家（ま）寛永三年

大猷院殿御上洛（ま）時供奉（ま）同十年